

令和3年度県営林年度実施計画の達成状況について

1 要旨・目的

公益的機能の持続的な発揮及び木材の安定的な供給を図ることを目的とする県営林事業について、令和3年度の実施状況を報告する。

2 現状・背景

令和3年度は、第2期県営林中期管理経営計画に基づき、事業地及び事業体の確保による計画的な木材生産や、コストの削減、有利販売に取り組んだ。なお、輸入木材の価格高騰や品不足による県産材需要の増加に対応するため、用材の安定供給に重点的に取り組んだ。

3 概要

(1) 成果目標

木材生産量の確保【 目標 47,600m³ ⇒ 実績 57,137m³ 】

事業の早期着手や月次の工程管理を行った結果、木材生産量の目標を達成した。

(2) 事業内容

事業地の確保などに向けて、次の取組を実施した。

区 分	取 組 内 容
事業地の確保	前年度に実施した先行調査の結果を基に、施業プラン書作成、土地所有者交渉を行い、事業地の早期確保に努めた。
事業体の確保	事業体が年間事業計画を立てられるよう、まとまりのある規模の事業地を早期発注し、事業体を確保した。
コスト削減	既存の集出荷施設に大ロットで直接出荷を行うことで、仕分け・運送コストの削減を図った。
有 利 販 売	県内の集出荷施設などに対して、需要に応じた直接協定取引を行うことで、安定した収入を確保した。

(3) 事業計画と実績

木材生産の請負事業については、利用間伐において条件不利地の施業実施を中止したため、面積・材積とも実績が下回ったが、バイオマス材生産において需要増への対応から供給強化を図っており、請負事業全体では、木材生産量が計画を上回った。

また、立木販売についても、ほぼ計画通り実施しており、木材生産量は計画を上回った。

保育については、アクセスなどの現場条件が悪い施業地が多く、施業コストが増えたため、計画を下回った。

区 分				計 画 (A)		実 績 (B)		増 減 (B)-(A)	
				面 積	材 積	面 積	材 積	面 積	材 積
木 材 生 産	請 負 事 業	用 材	利用間伐	280 ha	16,800 m ³	240 ha	15,666 m ³	▲ 40 ha	▲ 1,134 m ³
			主 伐	10 ha	2,600 m ³	0 ha	0 m ³	▲ 10 ha	▲ 2,600 m ³
		バイオマス材		—	4,200 m ³	—	15,569 m ³	—	11,369 m ³
		計		—	23,600 m ³	—	31,235 m ³	—	7,635 m ³
	立木販売(主伐)		80 ha	24,000 m ³	73 ha	25,902 m ³	▲ 7 ha	1,902 m ³	
	合計		—	47,600 m ³	—	57,137 m ³	—	9,537 m ³	
保 育				200 ha	—	173 ha	—	▲ 27 ha	—
作業道開設（延長）				61,600 m	—	52,588 m	—	▲ 9,012 m	—

(4) 収支計画と実績

木材の有利販売を推進するなど売上高の確保に努めるとともに、流通経費の縮減を図る等により、目標とする経常利益を確保した。

(単位：千円)

区分	項 目		計画 (A)	実績 (B)	増減 (B-A)	備考 (主な増減理由)
木材生産	①売上高	請負事業	262, 966	392, 976	130, 010	木材販売単価の増
		立木販売	105, 600	106, 425	825	木材販売単価の増
		計	368, 566	499, 401	130, 835	
	②生産原価		264, 638	224, 825	▲ 39, 813	請負事業の事業量の減
	③販売管理費		172, 930	153, 180	▲ 19, 750	請負事業の事業量の減
	④営業利益		▲ 69, 002	121, 396	190, 398	①-②-③
	⑤営業外収益		198, 571	236, 728	38, 157	分収金（Ｒ２）の増加に伴う前年度繰越金の増
	⑥営業外費用		61, 733	208, 090	146, 357	分収金（Ｒ２・Ｒ３）の増
	⑦経常利益		67, 836	150, 034	82, 198	④+⑤-⑥
	保育	⑧販売管理費		71, 324	68, 052	▲ 3, 272
⑨営業外収益		21, 905	20, 269	▲ 1, 636	立木補償金の減	
⑩営業外費用		6, 649	2, 255	▲ 4, 394	立木補償に係る分収金の減	
⑪経常利益		▲ 56, 068	▲ 50, 038	6, 030	⑨-⑧-⑩	
⑫経常利益 計			11, 768	99, 996	88, 228	⑦+⑪
⑬特別損失			163, 613	163, 527	▲ 86	職員給与費確定による減
⑭純利益			▲ 151, 845	▲ 63, 531	88, 314	⑫-⑬ 一般会計からの繰入必要額

(5) 分収造林事業の経営改革に伴う一般会計の負担

令和3年度は、県営林特別会計への繰出金64百万円と第三セクター等改革推進債償還金1,292百万円を一般会計から支出した。

(単位：百万円)

区 分	年 度				備 考
	H25	H26~R2	R3	累計	
県営林特別会計への繰出金	—	1,102	64	1,166	⑭純利益の赤字について、一般会計で補填
第三セクター等改革推進債償還額	—	9,134	1,292	10,426	償還期間:H26~R5 償還予定額:13,001百万円
県債権放棄額	33,264	—	—	33,264	旧(一財)広島県農林振興センターの民事再生に伴う債権放棄

(6) 貸借対照表

固定資産は、森林資産が6百万円減少して5,598百万円となった。また、固定負債は、借入金の返済により103百万円減少して970百万円となった。こうした結果により、純資産は、112百万円増加して4,528百万円となった。

(単位：百万円)

令和2年度決算				令和3年度決算見込			
流動資産	73	流動負債	187	流動資産	176	流動負債	275
固定資産	5,603	固定負債	1,073	固定資産	5,598	固定負債	970
〔森林資産 3,514〕 〔土地 2,089〕		純資産	4,416	〔森林資産 3,508〕 〔土地 2,089〕		純資産	4,528
計	5,676	計	5,676	計	5,774	計	5,774

※端数調整により合計が一致しない場合がある。